

1 肺癌と胸膜悪性中皮腫の鑑別における
2 Claudin4 の有用性

3
4 ○山田千裕 小野寺清隆 鈴木学 曾川紀子
5 米川球恵 岩井優 小木義貴 大木昌二
6 (千葉大学医学部附属病院 病理部)

7
8 【はじめに】悪性中皮腫は様々な形態を示し、しば
9 しば腺癌を含む肺癌との鑑別を要する。Claudin4 は、
10 上皮細胞や内皮細胞の細胞間接着装置である
11 Tight junction(TJ:密着結合)の構成蛋白の一つで、
12 最近の研究ではClaudin4 の免疫染色が取り上げら
13 れ、悪性中皮腫と腺癌との鑑別に有用と報告されて
14 いる。今回我々は、当院の手術摘出標本を用いて
15 Claudin4 の免疫組織化学的検討を行ったので報告
16 する。

17 【方法】当院にて腺癌(21例)、扁平上皮癌(20例)、
18 小細胞癌(4例)、大細胞癌(5例)、悪性中皮腫(7例)
19 と診断された肺・胸膜腫瘍組織検体を用いて、
20 Claudin4 の発現について免疫組織化学的検討を行
21 った。Claudin4 抗体は、invitrogen社のClone:3E2C1、
22 検出系はEnVision FLEXを使用した。判定基準は、
23 細胞膜に陽性を示す細胞が全腫瘍の0%を陰性、
24 >0~25%を1+、>25~50%を2+、>50%~を3+とした。

25 【結果】悪性中皮腫は全例陰性で、その他の肺癌は
26 全て1+以上となった。腺癌は3+が20例・2+が1例
27 (21例中)、扁平上皮癌は3+が13例・2+が3例・1+
28 が4例(20例中)、小細胞癌は全例3+、大細胞癌は
29 3+が4例、2+が1例(5例中)となった。

30 【結語】Claudin4 は肺癌で全例陽性で、悪性中皮腫
31 で全例陰性であった。よってClaudin4 は悪性中皮腫
32 の有力な陰性マーカーであり、腺癌のみならずその
33 他の肺癌との鑑別に有用であると考えられた。しか
34 しながらその使用にあたっては、生検のような少量
35 の限られた検体の場合など陰性となる癌腫も存在し
36 うと考えられるため、組織像や他の免疫組織化学
37 的マーカーの結果と併せて総合的に判断する必要が
38 ある。

043-222-7171(内線 6401)